



ほっかい

水とふれあい通信

発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北海土地改良区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

印刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目

迎春



平成16年北海土地改良区新年交礼会 (2004.1.5)

主な内容

『新春を迎えて』ご挨拶……………	2
平成15年度第2回臨時総代会開催……………	3
平成16年度農業農村整備事業推進活動……………	4
国営土地改良事業の中央要請について……………	5
平成15年度地区別懇談会開催……………	6
賦課面積確定業務について……………	7
空知中央地区地域用水事業ソフト活動……………	8

改良区の現況	
地区面積	33,260ha
組合員数	3,635人
15年10月対比	△20人
平成16年1月1日現在	

第68号

新春を迎えて



北海道土地改良区

理事長

眞野

弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いでの輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお祝いを申し上げます。

水士里ネットほっかいのお正月年頭に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、台風あり、地震あり、10年来の異常低温ありで、総じて残念な一年でありましたが、反面、永年の懸案でありました7土地改良区合併という快挙が、各旧区の大英断と3,777名組合員の高邁な識見とご理解のもとで、10億1千万円の就航という歴史的記念元年と位置づけた一年でもありました。加えて、喫緊の課題としての、国営事業の計画変更であります。

特に大詰めにある、空知中央土地改良事業にあつては、北海道建設見直しによる水源計画の変更等を経て、十一月二十七日、農水省計変委員会での審査で確定を見た処であります。

内容につきましては、理事会は勿論のこと、十一月の第2回臨時総代会での決議を頂き、資料送付と合わせて地区懇談会で説明申し上げて来た処であります。この第3回計画変更によつて

- (1) 北海道に替わる水源確保
- (2) 農業用水再編対策事業による支線水路の取込
- (3) 市来知頭首工の基幹かんぱい制度の移行
- (4) 集中管理センター建設
- (5) 総体事業費280億円増の1,360億円が主たる変更内容

であります。

初め時代は、国際化の中で世界的な動きに離れられる毎日ですが世界の平和共存、民主化を前面に掲げ

ながらも、各国の国益が根底にあることは否めない事実であります。

イラク戦争に於ける資金、人的復興支援、自衛隊派遣問題、WTO、FTA交渉、北朝鮮問題、第3回世界水フォーラムが京都で開催されました。北海道の水資源確保をみて年間降雨量の35%は冬季降雪による蓄積であります。

国営事業は、北海道管理ダム13、外土地改良区管理による多くの溜池によつて、農業を始め、地域産業や住民生活の基盤をしっかりと守る役割を果たしています。

農業サイドから見れば水利施設ストックは全国25兆円、北海道3兆7,000億円ともいわれています。

地球の水97.5%は海水であり、淡水は僅か2.5%にしか過ぎません。申し上げるまでもなく水はあらゆる生物の根幹であり、勿論、食料生産については欠かせない資源でもあります。

一方、情報によりますと、今年は、国連に於ける「国際コメ年」と位置づけられています。コメは日本のみならず世界の半数以上が主食とする食料で、その生産量は、6億トン、その90%以上はアジア地域であり、34億人の摂取カロリーの35%はコメで占められているといわれています。

その意味では、同数量生産のトウモロコシとは正反対に自給的要素の高い作物だといえるのです。

日本に於ける水田とコメは、2500年の歴史が示す様に食料としては勿論のこと、コメによつて培われてきたコメ文化は、深く国民のセンス(感性)を育み、モラル(道徳倫理観)を植え付けて来た。いわば、国民的風土、日本文化の根幹的役割を果たしてきたと確信する処であります。

申し上げた水と土に執拗に関わつて来た改良区は、今、水士里ネットの愛称を通じて、より多くの市民に親しんでもらう意味合いもこれ有りですが、改良区のこれからの方角性を意識した「自己改革宣言」でもあると考えています。

最後に役員、そして組合員皆様の格別なご指導と、ご活躍とご健勝をご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年の

御祝詞を申し上げます

北海道土地改良区

理事長 眞野 弘

専務理事 川平 昭幸

筆頭副理事長 岩田 良明

副理事長 高越 康治

三嶋 清治

平田 勝實

渡邊 勲

納口 修治

中道 博武

後藤 政弘

林 祥司

高田 幸雄

杉中 一男

齋藤 茂儀

星 政美

南 榮治

橋爪 克視

山田 政雄

入谷 雄一

後藤 昭悦

作田 欣一

伊藤 仁

姫本 州一

鎌田 登記雄

細川 正嗣

長井 真一

竹中 正勝

河瀬 正雄

黒島 勝太郎

薮中 哲雄

有澤 邦晴

筆頭監事 小林 秀治

監事 篠木 正男

小島 光穂

尾田 則幸

高橋 征次郎

平成15年度 第2回 臨時総代会開催

平成15年度第2回臨時総代会を11月11日、岩見沢平安閣において総代88名の出席を得て開催し、議長に段坂清司氏（栗沢町・第9区）、議事録記名人に庄子克美氏（美唄市・第4区）、猪岡和成氏（岩見沢市・第16区）を各々選出し、報告1件、議案11件について慎重審議の結果いずれも原案通り承認されました。

平成15年度 第2回補正予算の概要

一般会計 38,000千円 増額

第2回補正予算は、各種事業の変更及び低温による通水延長に伴う維持管理費増を主たる要因として、トータル38,000千円増額し総額6,212,000千円とするものであります。

平成15年度 一般会計第2回補正予算表

収 入					支 出				
(単位：千円)					(単位：千円)				
科 目	補正前の額	補正額	計	説 明	科 目	補正前の額	補正額	計	説 明
賦 課 金	2,836,483	0	2,836,483		一般管理費	881,946	-6,000	875,946	給料-6,000
使 用 料	24,572	0	24,572		営 造 物 管 理 費	790,619	12,388	803,007	溝路維持費 5,456 揚水機維持費 6,932
補助金及 び助成金	696,888	5,544	702,432	補助金 5,544	土地改良 事 業 費	133,408	22,088	155,496	団体営事業費 11,088 受託事業費 11,000
財産収入	2,539	0	2,539		諸税及び 負 担 金	677,098	0	677,098	
受託及び 補 償 金	35,874	11,000	46,874	受託金 11,000	繰 出 金	831,610	0	831,610	
繰 入 金	630,118	6,500	636,618	積立金繰入金 6,500	償 還 金	2,679,949	3,846	2,683,795	繰上償還金 3,846
借 入 金	1,275,030	8,846	1,283,876	農林漁業資金 借入金 5,000 長期借入金 3,846	諸支出金	39,635	0	39,635	
諸 収 入	372,974	244	373,218	雑入 244	換 地 費	122,432	5,866	128,298	道営換地処分納入金 2,933 道営換地処分清算金 2,933
換 地 費	122,432	5,866	128,298	道営換地 清算金収入 2,933 道営換地徴収金 2,933	合併記念式費	10,000	0	10,000	
繰 越 金	177,090	0	177,090		予 備 費	7,303	-188	7,115	予備費-188
収入合計	6,174,000	38,000	6,212,000		支出合計	6,174,000	38,000	6,212,000	

平成十八年度農業農村整備事業の

推進に向けた提案書

自然と共生する豊かな農業・農村をめざして

水士里ネット北海道（北海道土地運・小澤仁良会長理事）は本道農業農村のもつ多面的機能を十分に発揮し、土地改良事業推進の中核となる土地改良区の組織運営強化を図るため平成十六年度国費予算の編成に際し、農業・農村の役割が一層発揮される個性ある地方の発展が図られるよう、左記事項の実現について要請を行っています。

提案書

北海道の農業は、わが国の食料供給基地として開発が進められ、今日、本道の基幹産業として発展し、生産性の高い大規模で専業的な農業経営が展開されております。

しかし、近年、経済のグローバル化が急速に進み、市場競争が激しさを増す中で、食料消費構造の変化や輸入農産物の増加により農産物価格が低迷し、さらに、WTO 農業交渉や新たな米政策に伴う地域水田農業ビジョンの策定など、地域農業にとって大きな課題を抱えた重要な時期を迎えております。

このような中で、本道の農業・農村は、冷涼で広大な恵まれた自然条件を最大限に活かしながら、その役割を一層高めるため、関係者一丸となって収益性の高い農業の確立、豊かで活力ある農村の構築に鋭意取り組んでおります。

食料自給率の向上に向けて農業の体質強化、農業用水や有機性資源の循環を促進する循環型社会の構築、さらには人と自然が共生する美しいふるさとづくりを促進するためには、環境の保全に配慮した生産基盤整備をはじめとする各種農業農村整備事業の計画的な推進が肝要であります。

つきましては、平成十六年度国費予算の編成に際し、農業農村の役割が一層発揮され個性ある地方の発展が図られるよう、別記事項の実現を提案します。

平成十五年十一月

水士里ネツト北海道

北海道土地改良事業団体連合会

会長理事 小澤 仁 良



「金田英行農林水産副大臣へ要請」

《収益性の高い地域農業の確立推進》

- 1 生産基盤の整備に必要な予算の確保
 - 2 国営事業の新規地区の確保及び道営・団体営事業等の新規採択事業費枠の確保
- 《豊かさと活力ある農村の構築及び環境と

調和した農業の推進

- 1 農村の生活環境整備に係る予算の確保
- 2 農村地域の保全管理に係る予算の確保
- 3 道営・団体事業等の新規採択事業費枠の確保
- 4 環境と調和した農業の推進に資する施策の充実強化

《農業水利施設の十全な機能の発揮及び

土地改良区(水士里ネット)の役割を

積極的に果たすための施策の推進

- 1 農業水利施設の適正な管理に資する施策の充実強化

① 新農業水利システム保全対策事業の創設

- ・米政策改革による多様な水田営農に対応した新たな農業水利システムの構築に資する事業の創設

③ 土地改良施設維持管理適正化事業の拡充

- ・地域水田農業ビジョンの円滑な実施に資するため
土地改良施設の管理に必要な施設設備を行う対
象工事等の追加

- 2 土地改良区の組織運営基盤を強化する施策の充実強化

①土地改良区組織運営基盤強化対策の拡充

- ・土地改良区から政策改革等の諸課題に的確に対応できるよう、統合整備の促進や土地利用調整等の積極的な展開を図るための制度の拡充

②産地づくり支援農地情報整備促進事業の創設

- ・地域の農業情報の共有化や相互利用に資する農地情報システムの構築等を支援する事業の創設

《地元負担軽減対策の推進》

- 1 地方公共団体に対する財源対策の拡充強化
- 2 国営土地改良事業に係る農家負担金の繰上償還を円滑に行うための制度の創設

新たな米政策の円滑な推進

- 1 「地域水田農業ビジョン」の実現に向けた事業制
度の充実強化

專業的農家の経営安定の推進

国営土地改良事業の 中央要請実施される！

北海道国営土地改良事業促進協議会（会長 眞野弘 北海道土地改良区理事長）による中央要請が平成十五年十一月二十五日～二十八日に財務省、農水省、国土交通省北海道局へ要請実施を行いました。



「佐藤昭郎参議院議員へ要請」

提 案 書

北海道は我が国最大の食料供給基地として、専門的な農家を主体とする大規模で生産性の高い農業を展開し、広く国民に安全で良質かつ安価な食料の安定供給に大きな役割を果たしております。

特に、水田地帯では、国内外における競争の激化や米をはじめとする農産物価格の低迷等の様々な課題を抱えておりますが、冷涼で広大な恵まれた自然条件を最大限に生かしながら、その役割を一層高めるため、関係者一丸となつて、「きらく397」、「ほしのゆめ」に代表される安全で安価な良食

味米の生産など、安全で収益性の高い農業の確立、豊かで活力のある農村の構築に鋭意取り組んでおります。

また、今後は、米政策改革に向けた新たな地域農業を展開していく必要がありますが、そのためには、今後策定する地域水田農業ビジョンを踏まえて、生産基盤がしつかりと整備され、適正な維持管理がなされていることが重要と考えております。

このようなことから、国民への食の安全と安心の確保、食糧自給率の向上に向けた水田農業の構造改革、さらには活力ある農村の振興に資するためには、基幹的水利施設の整備や農地の再編整備をはじめとする各種農業農村整備事業の計画的な推進と併せて、これらの施設の維持・保全対策が肝要であります。

つきましては、北海道の水田地帯における基幹的な生産基盤を整備する国営農業農村整備事業や関連施設のさらなる推進のため、次の項目についてご尽力いただけますようお願いするものであります。

- 1 平成十六年度予算の必要額の確保による事業の推進
- 2 基幹水利施設の適正な維持管理に関する施策の充実強化
- 3 地元負担金の償還対策の充実強化
- 4 その他米政策改革に向けた関連施策の充実強化

平成十五年十一月

北海道国営土地改良事業促進協議会

会長 眞野 弘

おくやみ

当区関係者において、左記の方々のご逝去されました。ここに、生前中当区業務運営にご尽力賜りました事に深く感謝申し上げます。

◎元役員

西 田 博 氏（栗沢町）

旧栗沢土地改良区

元理事（昭和五十年二月～五十八年二月）

平成十五年十二月二十日逝去

伊 藤 剛 氏（美唄市）

旧中村土地改良区

元理事長（昭和四十七年四月～五十二年三月）

平成十六年一月五日逝去

酒 巻 征 弘 氏（美唄市）

元理事（昭和四十年九月～五十六年九月）

平成十六年一月八日逝去

◎組合員

吉 本 正 弘 氏（岩見沢市）

志文支線組合

平成十五年十月十五日逝去

烏 畑 直 行 氏（岩見沢市）

岡山支線組合

平成十五年十月十九日逝去

烏 山 義 雄 氏（岩見沢市）

岡山支線組合

平成十五年十一月一日逝去

佐 坂 武 氏（岩見沢市）

上志文支線組合

平成十五年十二月二十一日逝去

村 上 健次郎 氏（奈井江町）

奈井江北支線組合

平成十六年一月四日逝去

平成十五年度 地区別懇談会開催

国営かんぱい事業

計画変更に理解を求める！

平成十五年十一月十一日開催の第二回臨時総代会で議決された「国営かんぱい事業（空知中央・空知中央用水・道央・道央用水地区）計画変更」の同意申請作業への理解と協力を求める事と併せ、土地改良区業務の啓蒙を図るため、二班に分け地区別懇談会を全組合員を対象として十一月十七日～二十一日の間、各分水区単位に十三ヶ所四日間に亘り開催、延べ三百五十四名の地元組合員等に理解と協力を求めました。

又、今回の懇談会の大きな成果として、地元組合員より貴重なご意見を数多く賜り、今後充分協議を重ね、改良区運営に資する所存であります。誠に有り難うございました。

この作業の取りまとめにご尽力いただきました、役員、総代、分水区長、支線組合長各位、又、ご理解を賜りました組合員各位に重ねてお礼を申し上げます。

第1分水区懇談会（砂川市）
11/17 於 JA 新砂川



(A日程)

月 日	対象分水区	関係支線組合
11/17	第1分水区	赤平富平連合・砂川中央・豊沼
〃	第2分水区	奈井江北・奈井江南・京極・茶志内北
〃	第3分水区	茶志内3号・茶志内中央・聖化溜池・沼の内・北美唄・茶志内幹線開発・中村
11/18	第13分水区	豊正・豊里・共栄・栄町
〃	第4分水区	晩生内11線・美唄中央・沼貝幹線第1区～第4区
11/19	第15分水区	北村南第1～第5
〃	第14分水区	大富・大沼・19号・山形・中美唄・三日月中小屋・中小屋
〃	第5分水区	沼貝南・光珠内揚水機・光珠内・豊壺・光珠内乙・3号溜池

(B日程)

月 日	対象分水区	関係支線組合
11/17	第16分水区	岩見沢第1・第3～第6
〃	第8分水区	北西・上幌向・御茶の水・幌向・南幹線
11/18	第7分水区	南・志文・滝の上・金子・金志志文・上志文
〃	第6分水区	二川溜池・岡山・大願開拓・北村大願・三笠東区・三笠
〃	第10・11・12分水区	滝幌・青葉・三重・鶴城・晩翠・福野・新西幌・夕張太・晩翠西・中樹林（第1・第2・第4）・江別太（第1・第5）
11/19	第17分水区	岩見沢第2・第7～第9
11/21	第9・18分水区	小西・岐阜・栗沢越前・クツタリ・小西自協・必成・砺波揚水機・砺波・栗部北斗・北斗・北斗越前・豊成・由良・東栗沢



永い間ご苦勞様でした

永年歴任いただき退任された各位に、その功績に対し顕彰規定により感謝状を贈呈しました。

在任中、当区業務運営に多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げます。すと共に、今後益々のご健勝をお祈り申し上げます。

《総 代》

4期(4名)

奈井江町 東藤 勲

美 唄 市 萩生山 孝 一

南 幌 町 木 戸 勇

南 幌 町 幅 中 時 夫

3期(9名)

美 唄 市 森 井 茂

美 唄 市 安 達 武 雄

美 唄 市 高 坂 俊 幸

美 唄 市 小 野 照 吉

美 唄 市 須 藤 春 司

南 幌 町 前 川 茂 美

南 幌 町 白 倉 将 寛

江 別 市 馬 場 多 美 夫

北 村 小 玉 公 一

《支線組合長》

3期(1名)

大富支線組合長

美 唄 市 白 木 信 雄



賦課面積確定業務について

平成15年4月よりの7土地改良区合併において、確認事項の一つでありました平成16年度からの水張り賦課面積の統一に向け作業を進めておりましたが、面積確定の主要資料となります航空写真・田区図等に初歩的な不備が発覚したため、本年の確定業務を中止させていただく事といたしました。

一部地区の組合員の皆様には、この確定業務に当たり大変な不信と問題を引き起こしてしまいました。大変申し訳なく心から深くお詫びを申し上げます。

就きましては、現在原因究明と今後の作業再開に向け最善を尽くしておりますが、その事務量から平成16年度からの水張り賦課を1年延長しまして、平成16年度については本年度同様に暫定賦課とさせていただくべく、先の第2回臨時総代会にて了解を頂いたところであります。

その後、理事会の協議により今後の作業を、次のとおり取り進めることといたしましたので、ご理解とご協力を願います。

- 1 暫定期間(15・16年の2年)の面積が、平成17年度の確定面積より多い場合は、過収賦課金分を返還する。(第2回臨時総代会承認)
- 2 全区域を3班に分割し作業を進め、理事会—支線組合—地元へと順次説明会を開催、確認を行う。
- 3 地元への説明・確認作業は平成16年7月以降を予定しており、その都度関係組合員へ通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。

空知中央地区 地域用水事業ソフト活動

空知中央地区 地域用水対策協議会（事務局 北海土地改良区、国、道、市町村、関係団体で構成）では用水施設景観増進を目的として、地域住民と共に花、ハーブ、樹木などを植栽し、新たな農業農村の環境整備を実施しています。

用水路景観増進美化活動状況

赤平市住吉地域 北海幹線用水路でのアジサイ植栽活動



赤平少年育成会の子供たちと一緒に

（平成 15 年 6 月 14 日 植栽）

奈井江町京極地域

京極幹線用水路でのハーブ植栽活動



住吉町老人クラブの人たちによる草取り

（平成 15 年 7 月 維持管理状況）

美唄市光珠内地域

光珠内調整池での植樹活動



奈井江グリーン少年団の子供たちと一緒に

（平成 15 年 4 月 29 日 植栽）

岩見沢市峰延地域

大願幹線用水路でのハーブ植栽活動



美唄市光珠内中央小学生と一緒に

（平成 15 年 9 月 6 日 植樹）

栗沢町北海幹線

用水路での植樹活動



岡山支線組合員の皆さんと一緒に

（平成 15 年 5 月 3 日 植栽）



栗沢グリーン少年団の子供たちと一緒に

（平成 15 年 10 月 11 日 植樹）